

第5期雄武町総合計画前期基本計画 施策評価調書（兼政策評価基礎調書）

政策目標	1	はつらつ・雄武	整理番号	15
基本施策	5	観光の振興	評価責任者	産業振興課長 石井 弘道
単位施策	1	雄武観光の売り込み		税財管理課長 淡路 至尊

1 施策の概要

基本方針	流水とカニ・ホタテ・サケ・乳製品があり、他のオホーツク管内に負けない広大な海岸酪農景観を楽しめることから、北海道で最も北海道らしいまちとして全国に雄武観光を売り込むほか、都市居住者が好奇心や探究心を持つ雄武ならではのエピソードをタイムリーに情報発信する。	
現状と課題	【現状】（平成21年度末）	【現状】（平成23年度末）
	道内各イベントを通して関係団体も含め、積極的に特産品をPRしながら売り込みを図り、併せてホームページ等でも情報発信している。	道内各イベントを通して関係団体も含め、積極的に特産品をPRしながら売り込みを図り、併せてホームページ等でも情報発信している。
	【課題】（平成21年度末）	【課題】（平成23年度末）
	様々な形で情報発信しているが、観光客の増につながっていない。今後、人とのつながりが重要となってくる。	様々な形で情報発信しているが、観光客の増加につながっていないため、今後、旅行会社と連携を図り、観光客を呼び込むツアーなどで、情報発信を行い、観光客増加を目指す必要がある。

2 基本施策指標

指標1	指標名	年間観光入り込み客数						
	定義等	雄武町における年間観光入り込み客数						
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	目標値							13万人
	実績値	11.1万人	10.6万人	10.9万人	13.1万人	12.5万人		
指標2	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	目標値							
	実績値							
指標3	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	目標値							
	実績値							
指標4	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	目標値							
	実績値							
指標5	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	目標値							
	実績値							
指標6	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	目標値							
	実績値							
指標7	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	目標値							
	実績値							

3 単位施策を構成する事務事業の評価結果等

【貢献度の区分 A：高い B：やや高い C：やや低い D：低い E：なし】

No.	事務事業名	担当係名	23年度 決算額 (千円)	総合評価	今後の 展開方向	単位施策への 貢献度
①	ホテル日の出岬施設整備事業	管財係				
②	道の駅振興調査事業	商工観光係	0	B	継続/現状維持	B
③	産業観光まつり運営助成事業	商工観光係	3,000	A	継続/現状維持	A
④	観光協会運営助成事業	商工観光係	2,300	A	継続/現状維持	A
⑤	神門プロジェクト事業	商工観光係	2,260	B	継続/現状維持	A
⑥	観光PR用印刷物作成事業	商工観光係	500	A	継続/現状維持	A
⑦	【再掲】ふるさと発信CI推進事業	企画調整係	403	A	継続/現状維持	B
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						
⑬						
⑭						
⑮						

4 施策の個別評価【A：評価が高い B：やや高い C：やや低い D：低い】

評価の視点	評価結果	理由、説明等
① 妥当性	A	雄武町の魅力を全国発信する上で、自然環境の豊かさや、特産品のPRを推進する事が妥当と判断する。
② 有効性	A	各種施策により、PRが図られているので有効であると判断する。
③ 効率性	A	各種施策によって、効率的に広くPRにつながっている。
④ 公平性	A	各種施策については、誰もが広く恩恵を受ける事から公平が保たれている。
⑤ 町民意見の反映	B	町民の意見を聞く場は設けていないが、関係団体・機関と連携をしながら進めている。

5 総合評価【A～D】

A：政策目標の達成に効果的であり、現在の施策を継続することが必要 等

B：政策目標の達成に効果的であるが、具体的な課題の解決に向けて一部取組を改善するなど、施策を充実することが必要 等

C：政策目標がほぼ達成されていることから、施策が一定の役割を終えつつあり、終期を見据えて縮減することが必要 等

D：(1)政策目標の達成に効果的であるが、事業構成が十分ではなく、新たな事業構築など取組を全体的に見直すことが必要 等

(2)政策目標の達成に向けた効果が認められないことから、施策の廃止も含めて抜本的に見直すことが必要 等

自己評価（一次評価）	評価会議評価（二次評価）	町長評価（三次評価）
A	A	
各媒体での情報発信に努めているところであり、本町の魅力PRをあらゆる事業を通して行っている。雄武観光の売り込みについて、今後においても必要不可欠な施策である。	同左	

今後の方向性	今後の方向性	今後の方向性
継続/現状維持	継続/現状維持	
観光の売り込みについては、魅力化、認知化、観光客ニーズの分析等、引き続き各種施策の継続が必要であり、より一層の情報発信に努める必要がある。	同左	
*今後の方向性の区分 ○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 ○終了 ○休止 ○廃止		